

【目次】

1.アーカイブ No.45

連載「日本労働会館物語」第42回

＜惟一館に結集した人々―その 1＞

2. [出張講演] 無し

3. [団体見学]

① 09/10(木) 団体見学・UA ゼンセン流通部門・「第一期・正道塾 有志の会」 9 名

② 09/18(金) 団体見学・電力総連・ユアテックユニオン 5 名<安部対応>

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

1. アーカイブ No.45

連載「日本労働会館物語」第42回 2013.09.12 発行の第 70 号に掲載

＜惟一館に結集した人々―その 1＞



明治 27(1894)年に建設された惟一館(現友愛会館。設計:J・コンドル)は、幾多の変遷を経て 2012 年に新しい友愛会館に建て替えられました。この約 120 年の歴史は、建物の名前に因み惟一館時代(1894 年～1924 年)、総同盟会館時代(1923 年頃～1931 年)、日本労働会館時代(1931 年～

1949 年)、総同盟会館・全織同盟会館時代(1949 年～1964 年)、友愛会館・三田会館時代(1964 年～)と呼ばれています。

この間、多くの人々が惟一館・日本労働会館・友愛会館に集い、去ってゆきました。このような人々は、大別すると①惟一館を建設したユニテリアン教会関係者、②惟一館で誕生した社会主義研究会(後の社会主義協会、社会民主党)の関係者、③友愛会・総同盟(後の同盟、現在の連合)の関係者、④その他、惟一館を利用した人々、になります。

この内、ユニテリアン教会や社会主義研究会の関係者については、すでに言及、紹介してきましたので、これからは友愛会・総同盟の関係者と、その他の人々を紹介いたします。しかし、参考のため今回は「惟一館の歴史」を再掲いたします。これは総同盟が惟一館を買収し、昭和 6(1931)年に日本労働会館としたときの『日本労働会館設立経過報告』の文書です。

「惟一館の歴史」(『日本労働会館設立経過報告』・1931 年)

「惟一館は、自由基督教の伝道を目的とし、明治 27 年に建設されたものであるが、爾来 40 年間、日本の社会運動に非常な貢献をいたしました。我国の社会思想、社会運動は、この建物より出でたと云うも過言ではないのであります。即ち福沢諭吉、片山潜、安部磯雄、吉野作造の諸氏は、この惟一館と密接な関係を有し、自由主義、社会民主主義、無政府主義、共産主義等々の思想も、この建物を中心に転回いたしました。我国最初の無産政党たる安部磯雄氏等の社会民主党は、明治 34 年結党直後に解散を命ぜられました、その結党準備は此处で行われました。

鈴木文治氏により大正元年 8 月、此处で創立された友愛会は、現在、日本労働総同盟として活動して居りますが、周知の如く我国労働組合の左、右、中間各派の主流は、労働総同盟より分裂したものであり、この各派組合を中心に、各無産政党が対立発生いたしました。この外、農民組合運動、労働者教育運動も、源を此处に発していることは、既に御承知のことと存じます。

斯くの如き、由緒ある建物でありますし、現に 20 年来一貫して、我労働総同盟は此处に本部を持ってきたのですが、之を総同盟の所有たらしめる様しばしば奔走いたしました。然し種々なる障害に依つてその実現を見るに至りませんでした、今回日本労働会館として、事実上、総同盟の手に収められたのであります。」

2. [出張講演] 無し

3. [団体見学]

① 09/10(木) 団体見学・UA ゼンセン流通部門・「第一期・正道塾 有志の会」 9 名

来館メンバーは、2 年前に出張講演で、2 時間半にわたり、戦前の労働運動に始まり、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、同盟の歴史、政治の必要性和歴史、労使関係、自由にして民主的な労働運動。戦後の労働運動の歴史、連合への発展、民社党結成から 50 年の歩みなど、労働運動の 100 年余の講義を学んだ。友愛労働歴史館には今回が初来館。ゼンセン・流通部門・第一期 正道塾の有志の会のメンバーが見学・解説を聞いた。熱心に展示物を見学、昔の手書きの書簡や会議録などに感動した様子。

「日本労働運動の 100 年余」。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民非共産の考え方」「社会体制」・社会主義と自由主義「経済体制・共産主義と資本主義」などを再度学習しました。まとめて鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を

再確認した。そしてこの歴史が現代の労働組合の基礎になっていることを再確認し、この学びを多くの仲間に伝えることを確信した。

② 09/18(金) 団体見学・電力総連・ユアテックユニオン 5 名〈安部対応〉

常設展示「日本労働運動の 100 年余」の DVD を視聴。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。最後は日本労働組合発祥の地の石碑の前で記念写真を撮り、無事お開きとしました。

-----「人間の尊厳、進歩と発達のために」-----

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F

Tel 03-3453-5386

E メール yuirodorekishikan@rodokaikan.org

HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

-----惟一館から132年、友愛から114年-----